

第7回 熊本大学 IROAST シンポジウム

ウェルビーイング社会の構築を目指す 理工系最先端研究

IROASTは、世界トップクラスの大学や研究機関との国際共同研究や医工連携など、分野をまたぐ研究プロジェクトをとおして、多くの優れた成果をあげています。「ウェルビーイング社会の構築～人に寄り添う技術の実現～」をテーマに、私たちの研究の一端をご紹介します。

2021 Mon
11/22 13:30
15:30

Zoomによる
オンライン形式

[使用言語: 日本語]

参加費
無料

どなたでも
ご参加いただけます。

檜垣 匠

生物のさまざまな特徴を捉える
画像解析技術の開発



相田 光宏

植物～その驚異的な
成長能力を支えるしくみ



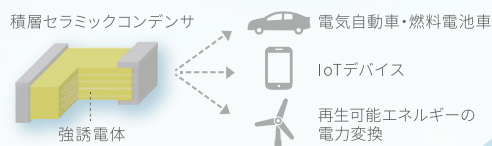
中島 雄太

わずか1mLの血液から
がんを発見する
手のひらサイズの検査装置



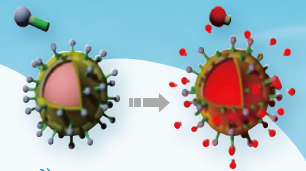
松尾 拓紀

電気を貯める材料“強誘電体”
-ナノ・マイクロ構造からの材料設計-



Lee Ruda (イ ルダ)

Nanoplatform for constructing
new approaches to cancer treatment
がん治療の新たな治療方法を築く
(和訳スライド付)



フェスタ
国立大学2021



【お問い合わせ】
熊本大学国際先端科学技術研究機構
(IROAST)
szk-kiko@jimu.kumamoto-u.ac.jp
<http://iroast.kumamoto-u.ac.jp/>

事前参加登録はこちらより >>

特設サイト

オープン期間
2021 11/1～11/30

サイト内では、講演概要やQ&Aコーナーの他、
シンポジウム終了後より講演動画もご覧いただけます。

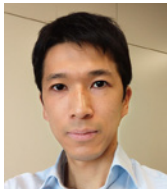


プログラム

13:30 - 13:35	開会あいさつ (熊本大学長 小川久雄)	14:45 - 15:05	わずか1mLの血液からがんを発見する手のひらサイズの検査装置 (中島 雄太)
13:35 - 13:45	IROAST紹介 (研究機構長 高島 和希)	15:05 - 15:25	植物～その驚異的な成長能力を支えるしくみ (相田 光宏)
13:45 - 14:05	生物のさまざまな特徴を捉える画像解析技術の開発 (檜垣 匠)	15:25 - 15:30	閉会あいさつ (副研究機構長 戸田 敬)
14:05 - 14:25	電気を貯める材料“強誘電体” -ナノ・ミクロ構造からの材料設計- (松尾 拓紀)		
14:25 - 14:45	Nanoplatform for constructing new approaches to cancer treatment (Lee Ruda) がん治療の新たな治療方法を築く (イ ルダ)		

※各発表時間には質疑応答を含みます

講演者紹介



松尾 拓紀

熊本大学国際先端科学技術研究機構
准教授
専門研究分野: 固体化学



中島 雄太

熊本大学大学院先端科学研究部(工学系)
准教授・IROAST国際共同研究員(併任)
専門研究分野: 医用生体工学



檜垣 匠

熊本大学大学院先端科学研究部(理学系)
准教授・元IROAST准教授
専門研究分野: 画像生物学



Lee Ruda (イ ルダ)

熊本大学国際先端科学技術研究機構
准教授
専門研究分野: ナノ医療



相田 光宏

熊本大学国際先端科学技術研究機構
教授
専門研究分野: 植物発生学

参加方法について

step

1

事前参加登録をお願いします。

シンポジウム特設サイトより事前参加登録をお願いします。
ご登録後、特設サイトへログインください。
シンポジウム参加用のZoomログイン情報をご確認いただけます。

事前参加登録は
こちらより



特設サイト

オープン期間

2021

11/1～11/30

(特設サイト内では、オープン期間中、講演概要やQ&Aコーナーの他、
シンポジウム終了後より講演動画もご覧いただけます。)



©2010熊本県くまモン

本リーフレットはSDG'sの目標に沿うよう、
再生コート紙にベジタブルインクを使用して印刷しました。